

図書館カフェの出店計画について（報告）

市の「観光戦略推進本部（主管課：商工観光課）」で進める交流人口拡大の取り組みの第一弾として、令和 8 年秋に図書館展示コーナーへ下記のカフェ出店計画が進められています。これに伴い、工事開始予定の令和 8 年 5 月までにカフェに該当する図書館の一部を用途廃止し、財政課へ普通財産として引き継ぐ必要があります。

現在の事業の状況についてご報告いたします。

記

1 南魚沼市図書館カフェ運營業務の目的

- ◎ 六日町駅前の賑わい創出を目的として、南魚沼市図書館内にカフェを設置し、来館者や地域住民、観光客が気軽に立ち寄れる交流と憩いの場を創出する。
- ◎ 六日町駅前のランドマークとして、軽食や休憩を楽しめるスペースを形成し、駅前エリアの回遊性向上や滞在促進、図書館機能との相乗効果による新たな魅力づくりを目指す。

2 カフェ運営のコンセプト

図書館及び周辺地域と調和し、図書館利用者だけでなく、地域住民や観光客も気軽に利用できる開かれた店舗であること。

3 出店条件

(1) 営業日及び営業時間

図書館の開館日、開館時間に限らず営業できる。

(2) 営業内容

- ・提供する品目及び価格は、運営事業者が定める。
- ・厨房、座席を含めたレイアウト図は、運営事業者の提案を受け付ける。
- ・テイクアウトも可
- ・本施設内への蓋つきの飲料の持込や、水分補給を認める。
- ・食事は、カフェ区画及び図書館情報コーナーに限定して認める。

・カフェ区画内での物販は可

4 優先交渉者の決定 令和8年3月5日（木）

（企画提案書の受付期限：2月24日（火））

5 カフェ設置場所 「資料 1-1 平面図」「概要図面_公募用」のとおり
カフェ店舗と図書館を繋ぐ出入口には、強化ガラス等の仕切りを設置し、防音対策を講じる予定。

6 カフェ設置による効果等：図書館の視点から

市役所や学校、病院、図書館のような公共施設は、これまで、例えば図書館は図書館の機能だけ、病院は病院の機能だけと、それぞれの役割がはっきりと分かれていた。しかし最近では、図書館にカフェは珍しいものではなく、病院と市役所が一体となった施設も造られている。こうした動きは、少子高齢化や人口減少の時代に合わせた考え方で、当市でも大和中学校を公民館、市民交流スペースがある複合施設として建設を進めている。

カフェを併設する効果は、

- ・コーヒーの香りと適度な環境音によるリラックス・集中力向上
- ・70デシベル程度のカフェの騒音は、静けさよりも逆に作業効率や創造性を高める
- ・単に本を借りる場所から、人が集い交流するサードプレイス（第3の居場所）へ発展し、コミュニティ創出の可能性がある
- ・パブリックスペース（図書館）にプライベートスペース（カフェ）があることによって「コモンスペース」の機能を果たす

など

7 その他（図書館側）

- ・図書館駅口は入り口専用だったが、カフェオープンとともに出入口に変更する。
- ・駅側出入口に新たなセキュリティゲートを2基設置して、資料の出入りを監視する。
- ・貸出した資料はカフェへの持ち込み可とする。
- ・MSGカフェは、新年度からショッピングセンター・ララの催事場で開催する。